

徳島市食育推進計画（第3期）（素案）に対する
パブリックコメント手続の意見取扱結果

意見募集期間 : 令和3年2月26日から令和3年3月26日まで

意見提出者数 : 3人

提出意見数 : 3件

計画（素案）の修正 : 提出いただいたご意見に対する市の考え方は別紙のとおりであり、今回ご意見に基づく修正はありません。

なお、計画の修正に至らなかったご意見につきましては、今後本計画や食育事業を推進していく上で参考とさせていただきます。

提出された意見と市の考え方

提出された意見内容	市の考え方
<p>地域の食材を用いたレトルト食品を作る学校給食の施設を新設して欲しい。 食材のムダがなくなるのと同時に、レトルト食品は防災のときにも活用でき、住民に配ったり、販売したりなどと、使いまわしが効くので、検討して欲しい。</p>	<p>いただいたご意見については、関係各課と情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。 今後も、当計画に基づき、食品ロス削減や地産地消の推進など、学校教育現場を通じた食育の推進を図ってまいります。</p>
<p>食育推進は良い取り組みだと思えます。 ただ、生産者目線が足りないのではないのでしょうか 地産地消と学校給食をもっと一体化させる必要があると思えます。 生産者としても、買ってくれる相手が安定していれば、より長い目線で農業に取り組めると思えます。 ただ市民に地元のものを買いましょうとお願いするだけでは手抜きと思えます。 自治体と農家の癒着だという声も出てくるかもしれませんが、めげずに続けていければ、市民の利益になると分かるはずで 説明を惜しまず、このように取り組んでいただきたいです。</p>	<p>いただいたご意見については、関係各課と情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。 学校給食に使用している農産物は、市内・県内産を優先しております。今後も地元の食材の使用に努め、情報の発信に取り組んで参りたいと考えております。</p>
<p>「まごわやさしいこ」を入れてほしいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ま→豆(大豆) ・ご→ごま ・わ→ワカメ(海藻全般) ・や→野菜 ・さ→魚 ・し→シイタケ(きのこ類全般) ・い→芋(サツマイモ) ・こ→米 <p>昨今の食生活を取り巻く環境や、家族構成などを考慮した時、肉や脂質は十分あるいはそれ以上に、意識しなくてもとれているように思えます。</p> <p>「まごわやさしいこ」なら小さい子どもから大人にいたるまで、覚えやすいし、意識して心がけるのも容易だと思えます。</p> <p>とりわけ、徳島は、鳴門ワカメやサツマイモ、しいたけ、米などの農産物や水産資源も良質で豊富な自然環境にあるので、地域性も考慮すると、「まごわやさしいこ」を食育推進計画に入れるのは、大変意義のあることだと思えます。</p>	<p>次期徳島市食育推進計画では、望ましい食生活を実践するための指針である「食生活指針」やそれを行動に結びつけるものとしての「食事バランスガイド」を通して、規則正しい生活習慣や望ましい食習慣の定着を図ってまいります。 これまでも学校現場などにおきまして、ご意見のような標語を用いた栄養教育などを実施している事例もございますが、今後作成する次期計画の啓発リーフレット(概要版)や市ホームページ、市の食育推進施策の場面において、ご意見のような栄養バランスのとれた食生活について、周知・啓発を行ってまいりたいと考えております。</p>